

1) テーマ：「グループ校9学科との多職種連携演習 (MIPs)」

2) カテゴリー：②教育内容 (授業・演習)

3) 学校概要：学校名：学校法人 龍澤学館 盛岡医療大学校 看護学科

所在地：岩手県盛岡市大通3-3-26 課程名：3年課程

1学年定員数：40名

修業年数：3年

4) 科目：臨床看護の実践Ⅰ 1単位 30時間 2学年 前期

目標：保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び多職種の役割を理解し、多職種との連携・協働について考える。

5) 内容

- ・人々の暮らしや福祉を取りまく環境は複雑化・多様化しており、「多職種連携」が一層注目されるようになった。グループ校9学科の学生と多職種連携演習(MIPs)を通して、医療関係の多くの職種の内容や役割、自職種と多職種とのつながり関係を理解し、チームで協働する必要性や意義について考える。
- ・医療ケアを必要としている人々だけでなく、家族の介護や世話を担う子ども「ヤングケアラー」、高齢者が住み慣れた地域で生活を望む「地域で暮らす高齢者」、障害者の災害対策「災害時の障害者」、3つの事例のグループワークを行う。多職種の考えや価値観などを知り、複数の専門職で機能させるチームワークの在り方や役割分担について考える。

6) 参加学生 (158名・学科混成25グループ編成、各グループ教員2名)

看護学科：29名

歯科衛生士学科：13名

心理福祉学科：7名

社会福祉学科：13名

こども福祉学科：9名

こども未来学科：21名

介護福祉学科：22名

医療事務学科：31名

スポーツ健康学科：13名 *看護学科以外、最終学年が参加



7) 展開

①多職種の役割理解

在宅医療における多職種連携テーマにした映画「ピア まちをつなぐもの」を鑑賞。学生自身が互いに目指している職種の専門性や役割を伝え、多職種理解を深めた。

②グループワーク

医療・福祉の問題事例を1つ取り上げ、それに対して専門的な知識をどのように活用すれば解決できるかを話し合う。話し合いは学生主導で行われ、様々な意見を集約してポスターにまとめる。

方向性を見失ったり、行き詰ったりした場合は、各教員がフォローする。

③プレゼンテーション・フィードバック

グループワークの内容をまとめ、事例に対しての援助方法を発表。

他のグループの視点や見解を聞き、教員からの指導やフィードバックを通して学ぶことができる。発表したポスターは所属校に掲示する。

《実施後、学生からの感想》

- ・多職種連携は「自分の得意を使って苦手を補い合う」ことだと学んだ。
- ・対象者が自分らしく、どう生きるのかを支える「ピア」になりたい。
- ・さまざまな職種が一丸となり「連携」することでチームが1つになる。

